



平成30年4月1日より新しく就任した

教育長 河原崎全 かわらさき あきら

市の将来を担う子供達の育成、生涯学習・スポーツを楽しむ市民への支援、文化の継承・文化財保護のために、皆様のご指導を仰ぎつつ、精一杯汗をかく覚悟です。よろしくお願ひ申し上げます。

本 質 疑 議

清水澄夫

【議案第6号について】

問 30年度から国民健康保険の広域化により、国保制度はどのように変わるのか。また、市の役割はどうなるのか

答 今までは、市が保険税を徴収し、給付に必要な費用を直接市が支出していました。30年度からは、徴収した国保税などを県に納付金として納め、給付に必要な費用は県から市に交付されます。市の役割は、今までと同様に、被保険者の資格管理や保険給付、保険税の徴収などを担っていきます。

問 県が財政運営の主体となり県への納付金100%が原則となっている。被保険者への徴収強化にならないか

答 30年度の保険税率は据置きで、広域化になっても今までどおり制度にそった徴収事務を行っていきたく考えています。

【議案第10号について】

問 介護保険料の推移は年々上昇し、今回の第7期は増額により5,500円となる。それに加え、利用料金、利用者負担も増大している。市はどう対応するのか

答 介護給付費用と保険料の伸びは相関関係にあります。地域包括ケアシステムの構築を進め、自立支援、介護予防のための事業に取り組むことで、給付費増額の抑制と負担の軽減に努めたいと考えています。

委 員 会 質 疑

総務経済委員会

平成30年3月8日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

【議案第15号について】

問 女岩コミュニティ防災センターの譲渡は、地元からの要望か

答 平成20年の建設当時に、10年経過後に女岩区に譲渡する話があり、今回、指定管理者制度の契約が満了し、県の補助金の枠も外れたため譲渡するものです。



女岩コミュニティ防災センター

【議案第31号について】

問 工業団地特別会計予算が、昨年と同様の金額では、やる気がないと感じるがどう考えているのか

答 一般会計に調査費200万円を計上し、29年度の調査で興味を示した企業に対し確認調査を実施し、その結果に基づき、特別会計の方向